平成１８年度 伊丹市行政評価　～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから５年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	132703		
事務事業名	市立伊丹病院医療機器整備事業	担当部局・課	市立伊丹病院 総務課
事業内容	地域の中核病院として、適切な医療サービスが提供できるよう、計画的に医療機器の整備等医療体制の充実、強化を図るとともに、日進月歩の医療水準の維持向上を図るため、手術用器材をはじめ、血液、生化学等の検査機器やＸ線装置等を年次的に更新する。	事業開始(予定)年度	平成12年度
		事業終了(予定)年度	―
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現
		項目	きめ細かな地域福祉の推進
		施策	市立伊丹病院の機能整備
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年（H18～22年度）に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。		

評価結果	B
	上位施策に対する貢献度はやや高く、効率性を点検した上で継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。

事業の目的	地域の中核病院として、適切な医療サービスが提供できるよう、計画的に医療機器の整備等医療体制の充実、強化を図るとともに、日進月歩の医療水準の維持向上を図るため。	予算費目（複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。）	（款）企業会計 （項）― （事項）― （目）―

事業費等の概算

	平成17年度（決算）			平成18年度（予算）		
		財源内訳			財源内訳	
事業費	209,205千円	国・県補助金等	―	100,000千円	国・県補助金等	―
		市　　債	206,600千円		市　　債	98,000千円
		その他（使用料等）	―		その他（使用料等）	―
		一般財源（市税等）	2,605千円		一般財源（市税等）	2,000千円
投入人員	―	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次の様になります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		―	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次の様になります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	
人件費	―	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		―	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。	
経費合計	209,205千円			100,000千円		

活動指標

		計画と実績	年度 / 区分	H17年度	H18年度
指標名（単位）	医療機器購入率（%）		計画値	―	―
意味・算式等	医療機器年間購入額÷年間購入予算額		実績値	―	